

病院理念

湖西地域の中核病院として、住民の方々の健康を守り、医療の充実に努めます。

基本方針

1. 医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
2. 医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
3. 救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
4. 地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
5. 継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。

血管撮影装置を最新機種に更新しました

高島市民病院では、地域の中核病院としての機能を高めるため、最新の医療機器に更新しました。装置の特徴は下記のとおりです。

血管撮影装置



当院では、最新型のフィリップス社製血管撮影装置を導入しました。この装置では血管に細い管を入れて血管を描出するカテーテル検査や、患者さまの体に対する負担（侵襲）が少ない血管内治療を行うことができます。最新技術が装備され、狭心症・心筋梗塞を引き起こす原因でもある虚血性心疾患、肝細胞がん、下肢血管障害などを発症された患者さまに最先端低侵襲治療をより安全に、より効率的に受けていただくことができます。

これからも市民の皆さまに信頼される安全で高度な医療を整えてまいります。

今年は早めの熱中症対策を

はじめと暑い日がやってきます。これまでの新型コロナウイルス感染症対策とあわせて、熱中症予防対策が必要です。

特に、これまでの外出自粛の影響により、体力の低下や暑さに慣れていないこと、そして、マスクをつけていると熱放散が妨げられることから、通常よりも熱中症のリスクが高くなるので、より注意が必要です。

熱中症の予防策



まずは身体を暑さに慣らすことから

これまでの外出自粛の影響により体力が低下していること、暑さに慣れていないことが想定されます。

これらは熱中症発症のリスク要因となるため、外での活動を再開する場合はくれぐれも無理のないよう休憩をとりながら、適切な水分補給を心がけましょう。

休息・睡眠を十分にとりましょう

睡眠時間は8時間以上が理想的とされています。体調の悪いときは暑い日中の外出や運動は控えましょう。

こまめな水分・塩分（ミネラル）の補給

定期的に水分を補給しましょう。夏は汗と一緒に塩分が失われます。水分と一緒に塩分を取りましょう。スポーツドリンク・ミネラルウォーター・麦茶がオススメです。ジュース・炭酸飲料は控えましょう。

服装

白い服を着ましょう。白色は熱が吸収されにくいので効果的です。また、帽子をかぶって熱から頭部を守りましょう。



室内での適切な温度設定

室内温度が27～28℃を超えないように適切な温度設定にしましょう。

室内温度が低い（24℃以下）と、外気温との差が大きくなり出入りする際に体に負担がかかります。